

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社
コード番号 5440 URL <https://www.kyoeisteel.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 尚吾
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員本社経営企画部長 (氏名) 増田 晶紀 TEL 06-6346-5221
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	74,152	△5.3	4,302	39.2	4,066	5.3	2,724	3.5
2025年3月期第1四半期	78,290	2.2	3,091	△36.6	3,863	△21.1	2,632	△33.3

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 △369百万円（－％） 2025年3月期第1四半期 4,601百万円（30.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	62.69	—
2025年3月期第1四半期	60.57	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	341,791	206,180	58.6
2025年3月期	352,828	209,157	57.5

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 200,371百万円 2025年3月期 202,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	60.00	90.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		30.00	—	60.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	154,000	△4.4	8,000	35.2	7,500	22.3	4,800	△5.2	110.45
通期	323,000	0.0	17,000	10.9	16,000	1.6	10,500	△2.7	241.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	44,898,730株	2025年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,439,755株	2025年3月期	1,439,755株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	43,458,975株	2025年3月期1Q	43,458,975株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、緩やかな回復が期待される一方、米国の通商政策の影響や、物価上昇の継続に伴う個人消費の減退などにより、景気の下押しリスクが高まっています。世界経済においても、米国の通商政策等による影響が懸念され、今後の動向に注視が必要な状況が続いています。こうした中、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は前年同期対比4,139百万円（5.3%）減収の74,152百万円、連結営業利益は同1,210百万円（39.2%）増益の4,302百万円、連結経常利益は同203百万円（5.3%）増益の4,066百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同92百万円（3.5%）増益の2,724百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 国内鉄鋼事業

当事業部門については、前年度に続き建設・物流現場での人手不足や諸資材価格の高騰に伴う建設コストの上昇によって建設工事の遅延・長期化が見られました。それらの影響で鋼材需要は弱基調で推移し、当社の製品出荷量は前年同期対比3.2万トン（8.5%）減の34.7万トンに留まりました。原材料である鉄スクラップの価格は、米国の関税措置を警戒した経済の停滞を受けて国内外とも需要が低調であったことから、同10.1千円（18.9%）下落した一方、製品価格については、需要に見合った製造・販売に徹しつつ、人件費や輸送費など諸コストの上昇を受けて価格の維持・値上げに努め、同6.9千円（6.5%）の下落に留まったことから、売買価格差（製品価格と原材料価格の差異）は同3.2千円（6.2%）拡大しました。しかしながら、生産量・製品出荷量の減少の影響により、売上高は前年同期対比5,554百万円（14.5%）減収の32,687百万円、営業利益は同714百万円（15.3%）減益の3,968百万円となりました。

② 海外鉄鋼事業

当事業部門については、ベトナムおよび北米（米国・カナダ）にて鉄鋼事業を展開しており、いずれも決算期は12月です。

ベトナムにおいては、政府主導のインフラ投資や民間投資の活発化などにより鉄鋼需要が回復し、各拠点の出荷量は前年同期対比で増加しました。競合環境は引き続き厳しく、製品価格は前年同期対比で下落したものの、増産や様々な取り組みによるコスト改善などにより、業績は前年同期対比で大幅に改善しました。

北米においては、米国政府の関税措置による先行きが見通しづらい中、米国拠点では需要家の様子見や操業トラブルによる出荷量の減少などから赤字を残しましたが、前年同期対比では大幅に業績が回復しました。カナダ拠点は米国の関税措置の影響はさほど見られず、前年同期並みの製品出荷とコスト改善効果により、前年同期対比増益となりました。

以上の結果、売上高は前年同期対比1,728百万円（4.7%）増収の38,825百万円、営業利益は前年同期対比2,386百万円増益（前年同期は1,794百万円の営業損失）の592百万円となりました。

③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、利益率の高い廃棄物処理案件の獲得に注力したものの、競合環境の激化による廃棄物の処理量の減少や処理コストの増加等により、売上高は前年同期対比309百万円（18.7%）減収の1,343百万円、営業利益は同280百万円（90.5%）減益の30百万円となりました。

④ その他の事業

当事業部門については、ベトナムでの港湾事業や、国内およびベトナムでの鋳物事業などを行っています。売上高は前年同期対比3百万円（0.2%）減収の1,297百万円となり、営業利益は同58百万円（48.6%）増益の178百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7,181百万円（3.4%）減少し、204,115百万円となりました。これは、有価証券が3,000百万円、商品及び製品が387百万円、流動資産その他が554百万円増加し、現金及び預金が5,723百万円、売掛金が2,574百万円、原材料及び貯蔵品が2,348百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3,855百万円（2.7%）減少し、137,676百万円となりました。これは、有形固定資産その他が372百万円増加した一方、建物及び構築物が762百万円、機械装置及び運搬具が1,829百万円、投資有価証券が522百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて11,037百万円（3.1%）減少し、341,791百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3,534百万円（3.4%）増加し、106,793百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,713百万円、電子記録債務が2,736百万円、1年内償還予定の社債が10,000百万円増加し、短期借入金が4,619百万円、未払法人税等が1,803百万円、流動負債その他が4,379百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11,594百万円（28.7%）減少し、28,818百万円となりました。これは、社債が10,000百万円、長期借入金が948百万円、繰延税金負債が282百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8,060百万円（5.6%）減少し、135,611百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2,976百万円（1.4%）減少し、206,180百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を2,724百万円計上した一方で、為替換算調整勘定が2,216百万円、非支配株主持分が359百万円、利益剰余金の配当により2,608百万円減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.5%から、58.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内鉄鋼事業については、第2四半期連結会計期間以降も引き続き建設・物流現場における人員不足の影響などにより建設用鋼材需要は低調に推移することが予想されることから、上期・通期とも製品出荷量は想定よりも減少する見通しです。鉄スクラップの価格は大きく上昇する要素が見られない状況ですが、生産数量減に伴いコスト影響も大きくなるため、国内鉄鋼事業の業績は当初計画を下回ることが予想されます。

一方、海外鉄鋼事業については、ベトナムでは建設用鋼材需要が回復する中、競合環境は厳しいながらも、南北ともに出荷数量の増加に伴い当初計画を上回る見通しです。北米については、米国拠点は操業上の問題の改善が遅れており上期の業績は厳しいものの、下期は収支均衡に近づく見通しです。カナダ拠点は引き続き堅調な需要環境の下で好業績が見込まれ、海外鉄鋼事業全体で当初計画を上回ることが予想されます。

しかしながら、国内鉄鋼事業の業績の低下を海外鉄鋼事業の業績改善で補うには至らない見込みであることから、2025年4月30日の「2025年3月期 決算短信」で公表した第2四半期連結累計期間と通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	158,000	9,500	9,000	6,000	138.06
今回修正予想 (B)	154,000	8,000	7,500	4,800	110.45
増減額 (B-A)	△4,000	△1,500	△1,500	△1,200	
増減率 (%)	△2.5	△15.8	△16.7	△20.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2025年3月期第2四半期)	161,037	5,915	6,135	5,066	116.56

2. 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 340,000	百万円 19,000	百万円 18,000	百万円 12,000	円 銭 276.12
今回修正予想（B）	323,000	17,000	16,000	10,500	241.61
増減額（B-A）	△17,000	△2,000	△2,000	△1,500	
増減率（％）	△5.0	△10.5	△11.1	△12.5	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	322,849	15,332	15,745	10,791	248.30

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,495	58,771
受取手形	257	108
売掛金	53,371	50,797
電子記録債権	18,011	17,668
有価証券	—	3,000
商品及び製品	37,361	37,748
原材料及び貯蔵品	31,220	28,871
その他	7,025	7,579
貸倒引当金	△442	△426
流動資産合計	211,297	204,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,501	20,738
機械装置及び運搬具（純額）	38,365	36,536
土地	32,161	31,838
その他（純額）	17,712	18,084
有形固定資産合計	109,738	107,196
無形固定資産		
のれん	702	641
その他	2,379	2,247
無形固定資産合計	3,081	2,888
投資その他の資産		
投資有価証券	17,526	17,004
長期貸付金	150	14
退職給付に係る資産	6,133	6,021
繰延税金資産	2,889	2,756
その他	2,050	1,836
貸倒引当金	△36	△40
投資その他の資産合計	28,712	27,591
固定資産合計	141,531	137,676
資産合計	352,828	341,791

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,374	23,088
電子記録債務	5,538	8,274
短期借入金	50,369	45,749
1年内返済予定の長期借入金	5,128	5,066
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	3,267	1,464
賞与引当金	1,059	1,005
その他	16,525	12,146
流動負債合計	103,259	106,793
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	18,053	17,104
繰延税金負債	4,246	3,965
再評価に係る繰延税金負債	2,463	2,463
退職給付に係る負債	3,996	3,819
その他	1,653	1,466
固定負債合計	40,411	28,818
負債合計	143,671	135,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	19,621	19,601
利益剰余金	142,043	142,160
自己株式	△1,700	△1,700
株主資本合計	178,479	178,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,171	2,866
繰延ヘッジ損益	120	102
土地再評価差額金	4,498	4,498
為替換算調整勘定	12,541	10,325
退職給付に係る調整累計額	4,179	4,003
その他の包括利益累計額合計	24,509	21,795
非支配株主持分	6,169	5,810
純資産合計	209,157	206,180
負債純資産合計	352,828	341,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	78,290	74,152
売上原価	69,618	64,057
売上総利益	8,672	10,095
販売費及び一般管理費	5,581	5,793
営業利益	3,091	4,302
営業外収益		
受取利息	272	243
受取配当金	179	177
持分法による投資利益	357	199
為替差益	476	—
その他	174	209
営業外収益合計	1,458	827
営業外費用		
支払利息	662	619
為替差損	—	413
その他	24	31
営業外費用合計	686	1,063
経常利益	3,863	4,066
特別利益		
固定資産除売却益	16	57
受取保険金	—	14
特別利益合計	16	71
特別損失		
固定資産除売却損	16	13
その他	0	0
特別損失合計	16	13
税金等調整前四半期純利益	3,863	4,124
法人税等	1,468	1,415
四半期純利益	2,395	2,709
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△237	△16
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,632	2,724

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	2,395	2,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△238	△304
繰延ヘッジ損益	19	△19
為替換算調整勘定	2,334	△2,579
退職給付に係る調整額	91	△176
その他の包括利益合計	2,207	△3,078
四半期包括利益	4,601	△369
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,595	10
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△379

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 鉄鋼事業	海外 鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	38,241	37,097	1,653	76,991	1,300	—	78,290
外部顧客への売上高	38,241	37,097	1,653	76,991	1,300	—	78,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	31	144	175	232	△407	—
計	38,241	37,128	1,797	77,165	1,532	△407	78,290
セグメント利益又は損失（△）	4,682	△1,794	309	3,198	120	△226	3,091

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、保険代理店業等です。

2 「セグメント利益又は損失（△）」の調整額△226百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△256百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

3 「セグメント利益又は損失（△）」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 鉄鋼事業	海外 鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	32,687	38,825	1,343	72,855	1,297	—	74,152
外部顧客への売上高	32,687	38,825	1,343	72,855	1,297	—	74,152
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	18	144	166	243	△409	—
計	32,691	38,843	1,487	73,021	1,540	△409	74,152
セグメント利益	3,968	592	30	4,589	178	△466	4,302

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、保険代理店業等です。

2 「セグメント利益」の調整額△466百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△469百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	2,137百万円	2,050百万円
のれんの償却額	29百万円	28百万円